

# 向日市地域公共交通検討委員会 (第2回)

～ アンケート調査結果(速報版)～

# 1 アンケート調査票の回収状況

✚ 配布世帯数： 2,000世帯 (4,000枚)

✚ 回収世帯数： 590世帯 (884枚)

✚ 回 収 率：28.9%

配布世帯数	回収世帯数	回収率
2,000世帯	590世帯	29.5%

## 2 バス利用者の属性について

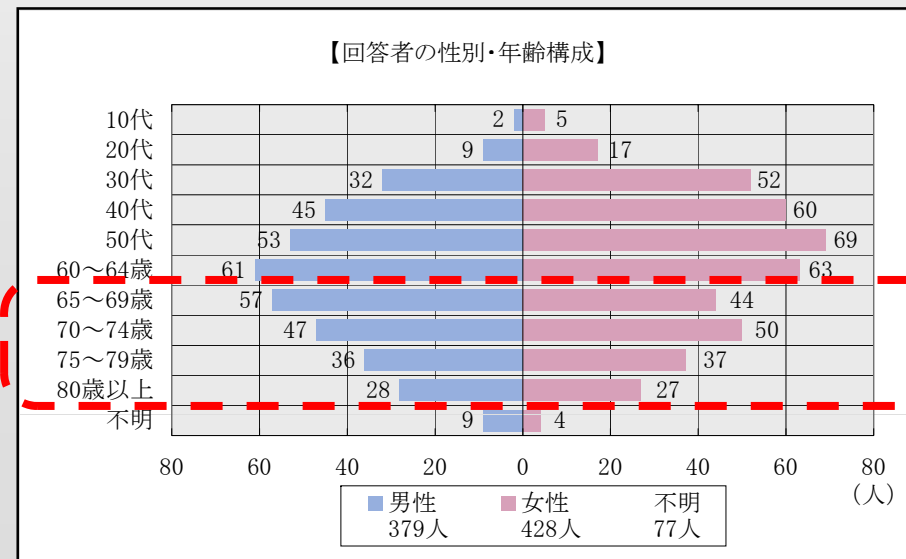
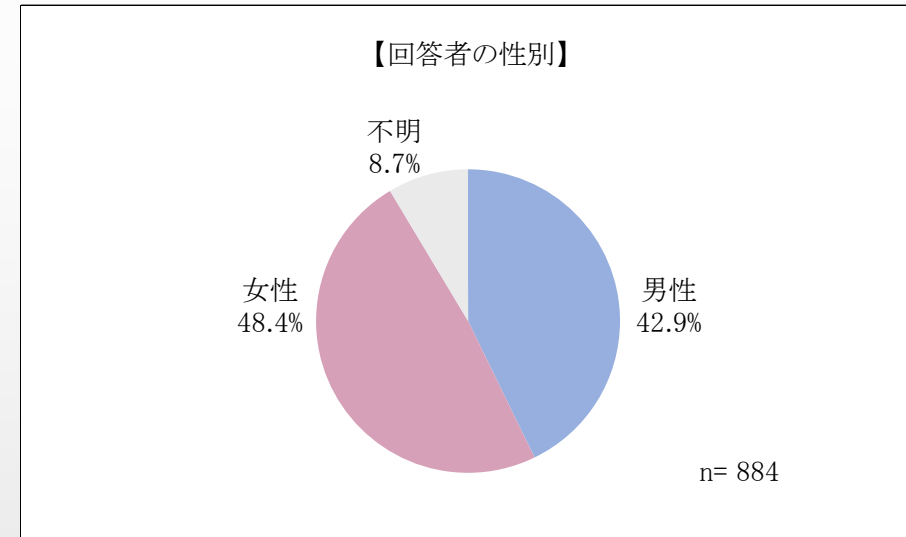
### (1) 性別，年齢構成

#### 性別

- 男女の構成比は概ね同程度

#### 年齢構成

- 60歳代の回答者が最も多い
- 回答者の40%超が65歳以上



## 2 バス利用者の属性について

### (2) 住まい

#### ✚ 回答者の居住地

- 寺戸町が最も多く約43.0%  
次いで上植野町が約23.5%
- 地区毎の世帯数の割合と概ね同様  
各地区毎で偏りなく回答

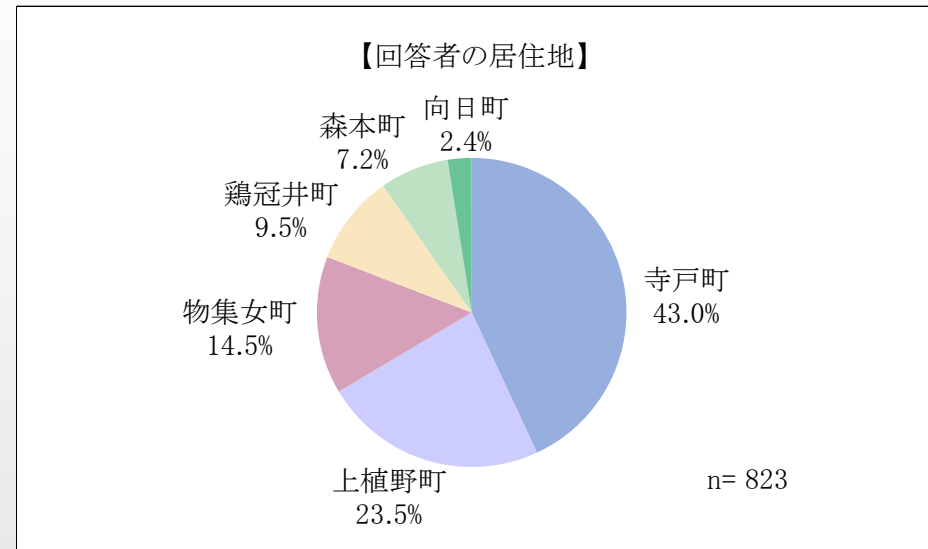


表2-1 地区毎の世帯数の割合

	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	総計
人口	8,426	22,231	4,674	5,292	12,181	2,044	54,848
世帯数	3,337	9,521	1,883	2,237	4,885	964	22,827
地区毎の 世帯数の割合	15%	42%	8%	10%	21%	4%	100%
配布世帯数	292	834	165	196	428	84	2,000

## 2 バス利用者の属性について

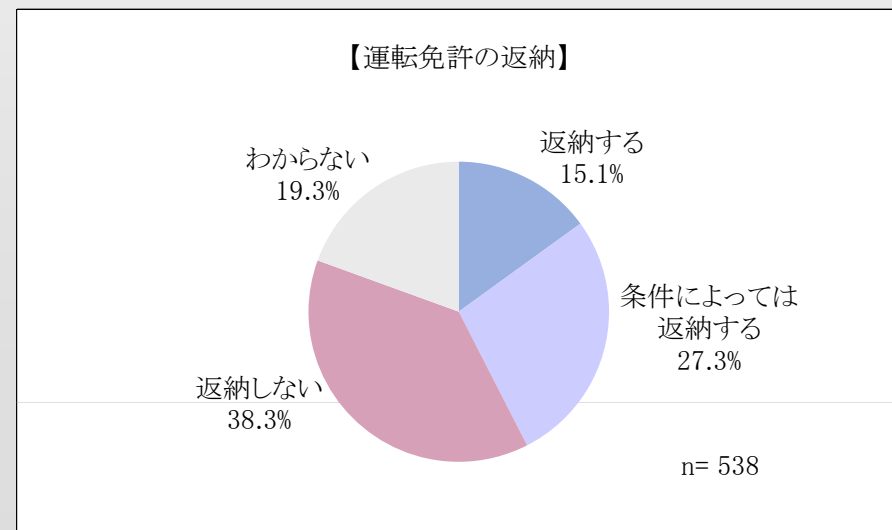
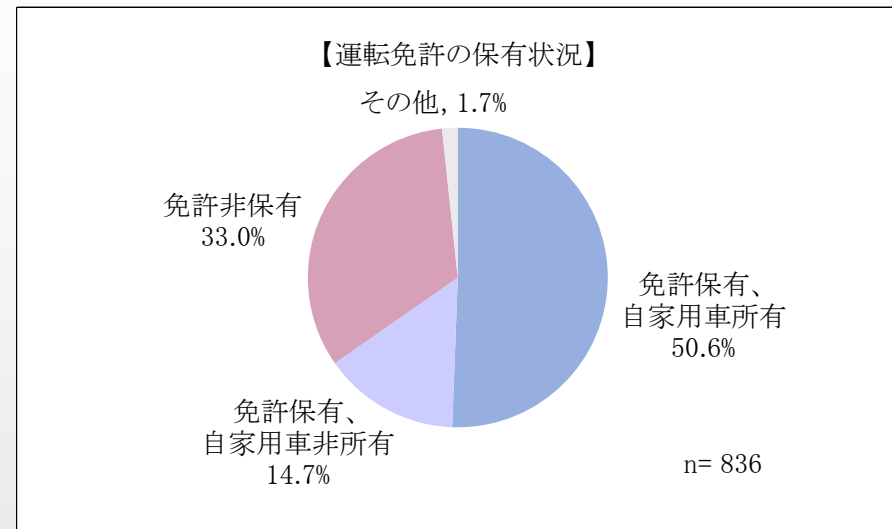
### (3) 運転免許の保有状況，運転免許返納の可能性

#### ✚ 運転免許の保有状況

- 自家用車を自由に使える人が約半数

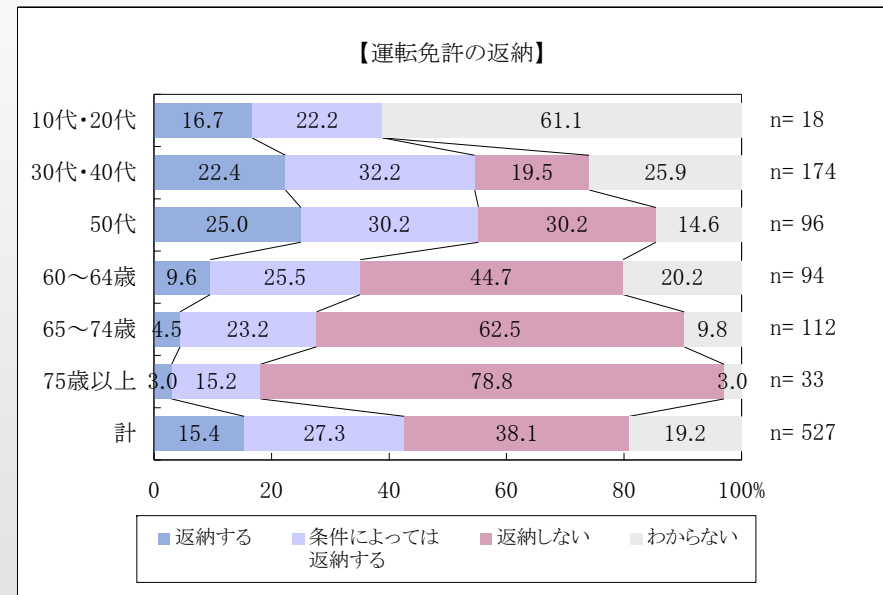
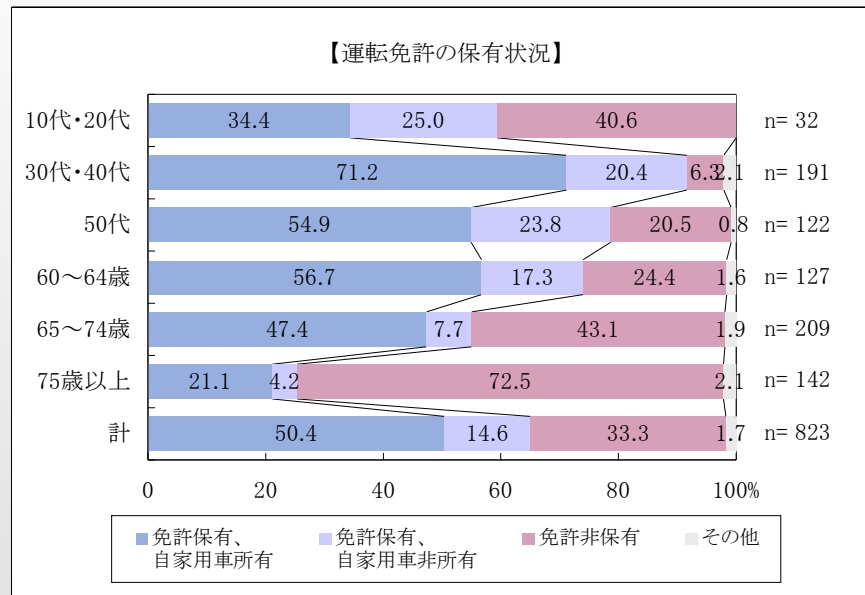
#### ✚ 運転免許返納の可能性

- 返納する：42.4%  
(条件によっては返納するを含む)
- 返納する条件
  - ・公共交通手段の充実
  - ・公共交通利用時の優遇
  - ・運転が困難になった場合 など



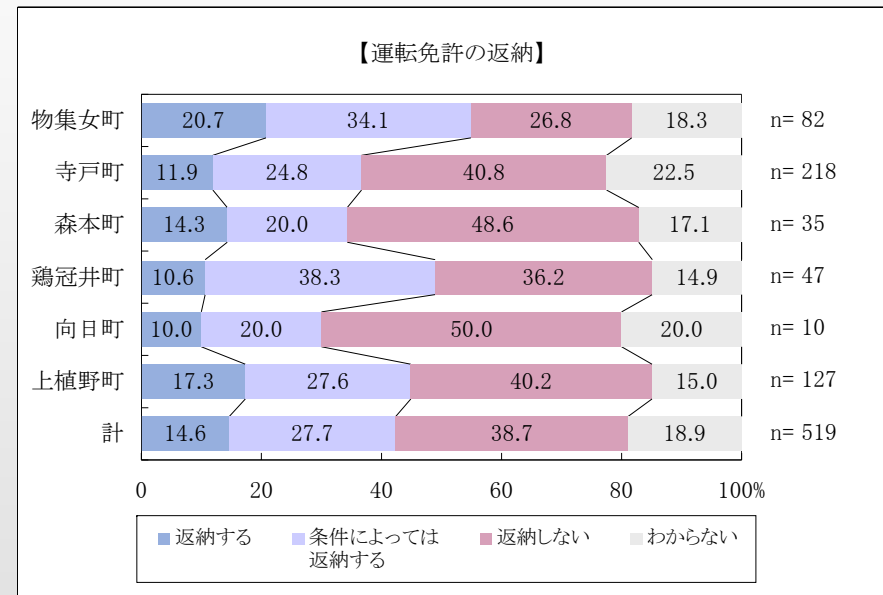
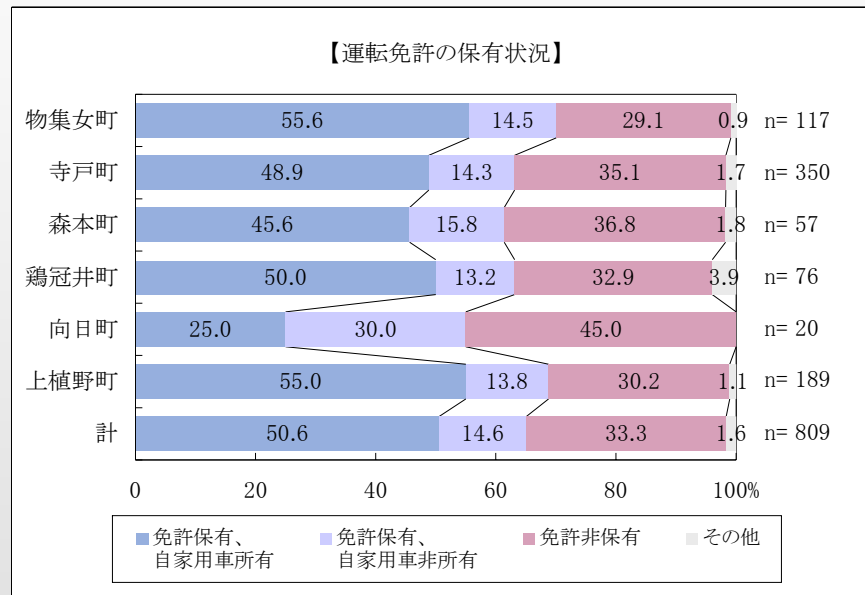
## 2 バス利用者の属性について

(参考) 運転免許の保有状況, 運転免許返納の可能性 (年齢階層別)



## 2 バス利用者の属性について

(参考) 運転免許の保有状況, 運転免許返納の可能性 (地域別)



### 3 バス交通の利用状況について

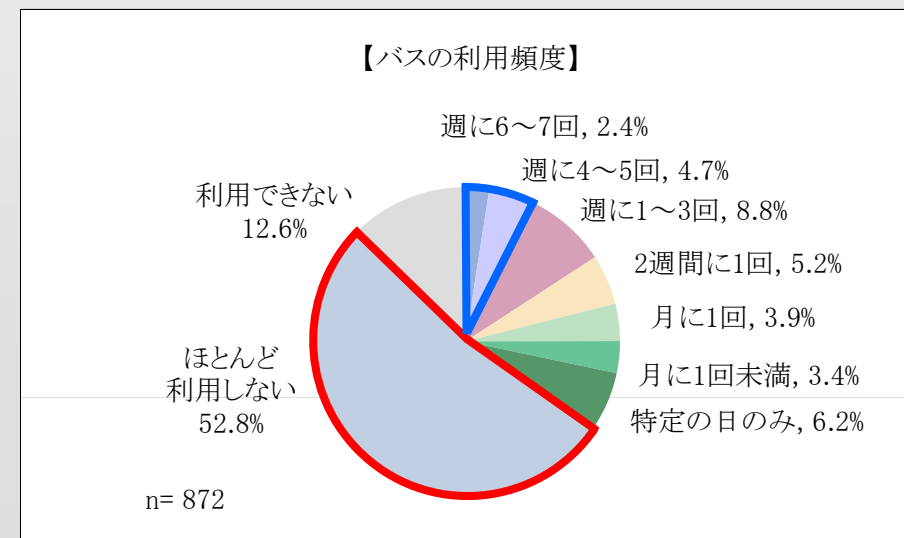
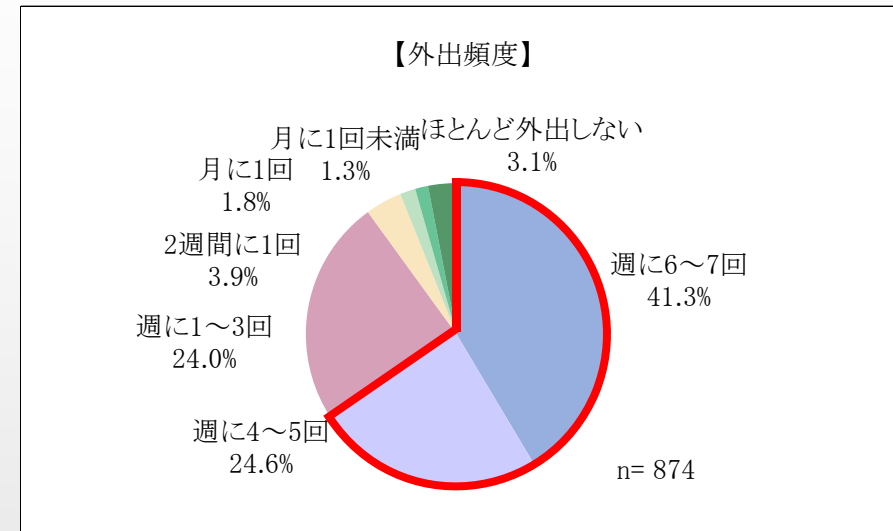
#### (1) ふだんの外出頻度, バスの利用頻度

##### ✚ ふだんの外出状況

- 全体の約**65.9%**の回答者が週4回以上外出

##### ✚ バスの利用頻度

- 全体の約**52.8%**の回答者がほとんど利用しない
- ほとんど毎日バスを利用している回答者は, 全体の約**7.1%**





### 3 バス交通の利用状況について

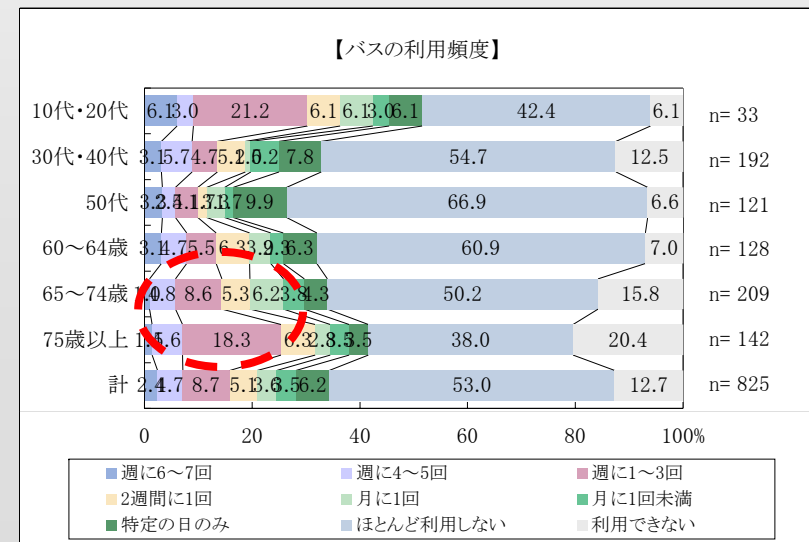
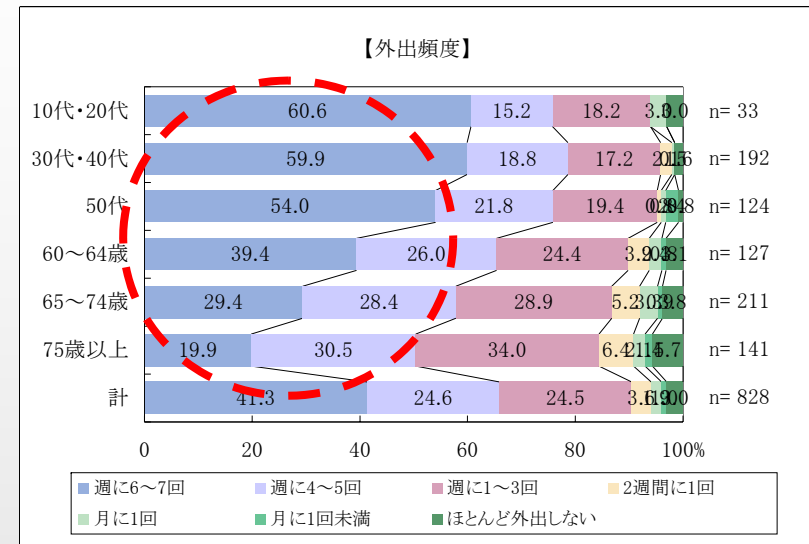
#### (1) ふだんの外出頻度, バスの利用頻度 (年齢階層別)

##### ✚ ふだんの外出状況

- 高齢の回答者ほど外出頻度が低下  
→ 約8割以上の回答者が週1回は外出

##### ✚ バスの利用頻度

- 高齢の回答者ほど, バスの利用頻度が高い
- 週1回以上バスを利用している  
前期高齢者(65~74歳) : 約14.4%  
後期高齢者(75歳以上) : 約25.3%



# 3 バス交通の利用状況について

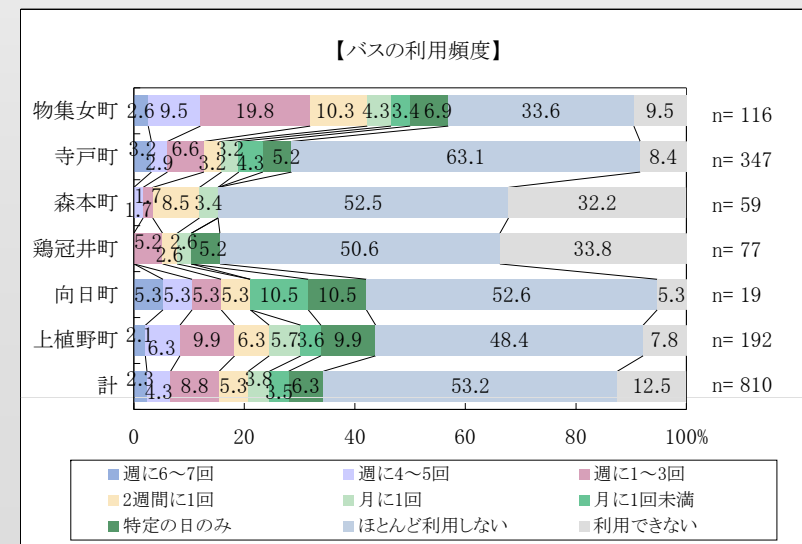
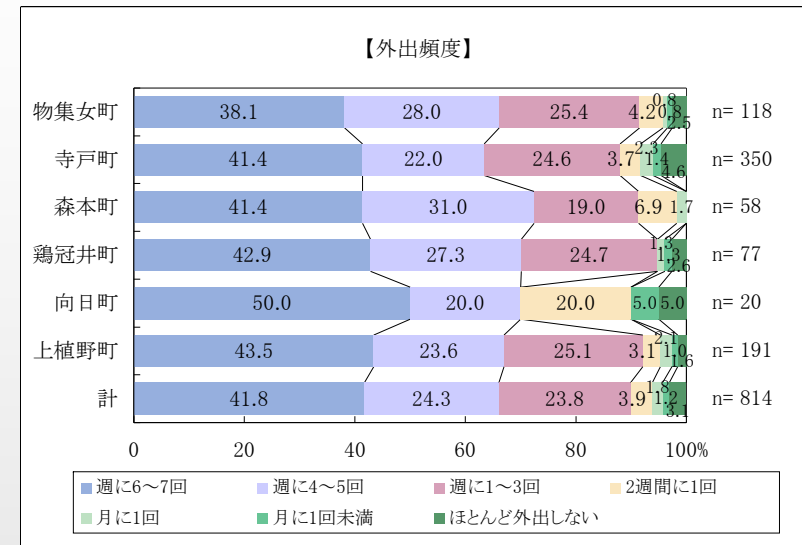
## (1) ふだんの外出頻度, バスの利用頻度 (地域別)

### ✚ ふだんの外出状況

- 地域ごとに大きな差はない
- 全体の**60%以上**の回答者が週4回以上外出

### ✚ バスの利用頻度

- 物集町の回答者が最も頻繁にバスを利用  
→ **約21.9%**が週1回は利用
- 森本町・鶏冠井町においては、バスを利用できないという回答が**30%超**



# 3 バス交通の利用状況について

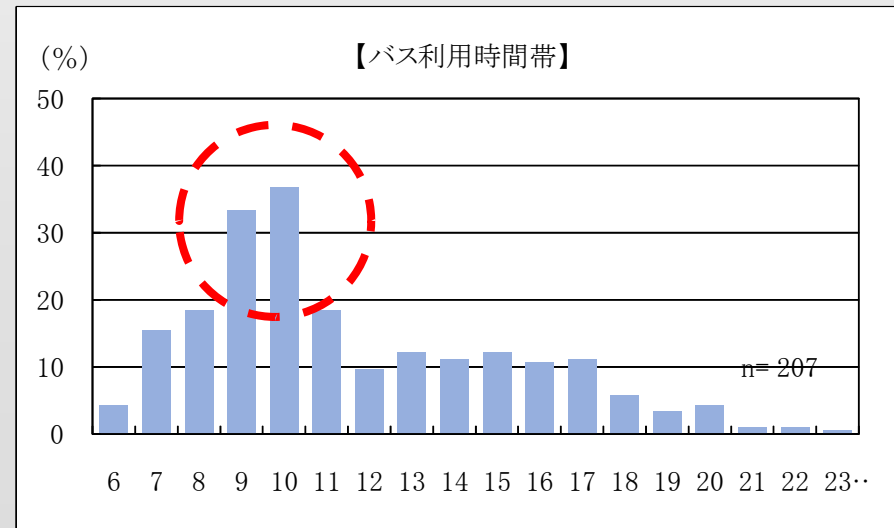
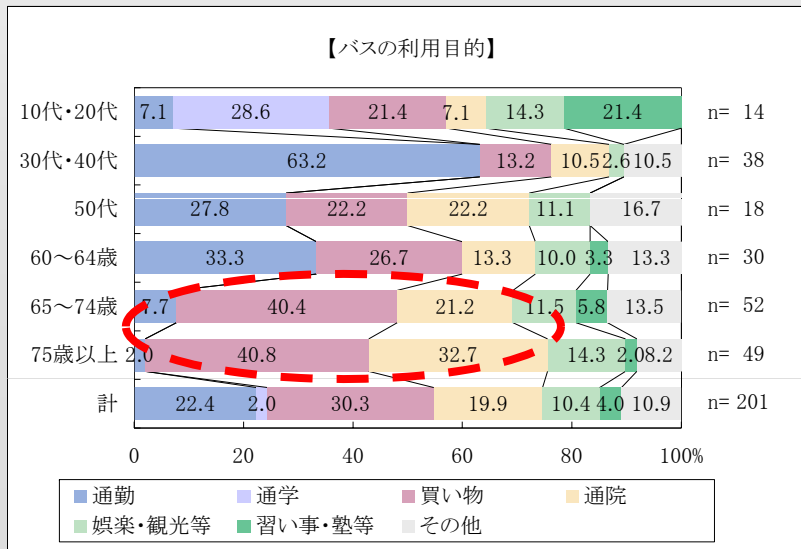
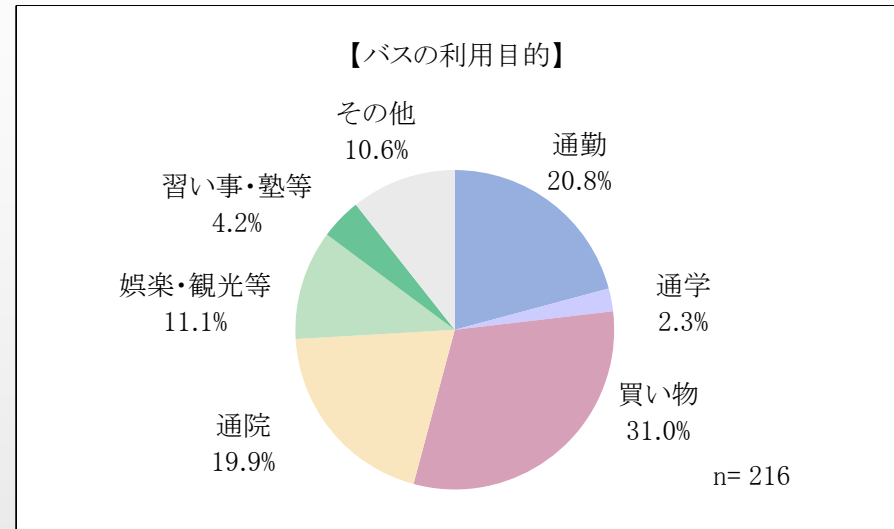
## (2) バスの利用目的, 利用時間帯

### ✚ バスの利用目的

- 買い物が最も多い(約31.0%)  
次いで、通勤が多い(約20.8%)
- 高齢の回答者ほど、買い物・通院の割合が高い

### ✚ バスの利用時間帯

- 午前のピーク時(9-10時台)に利用が集中

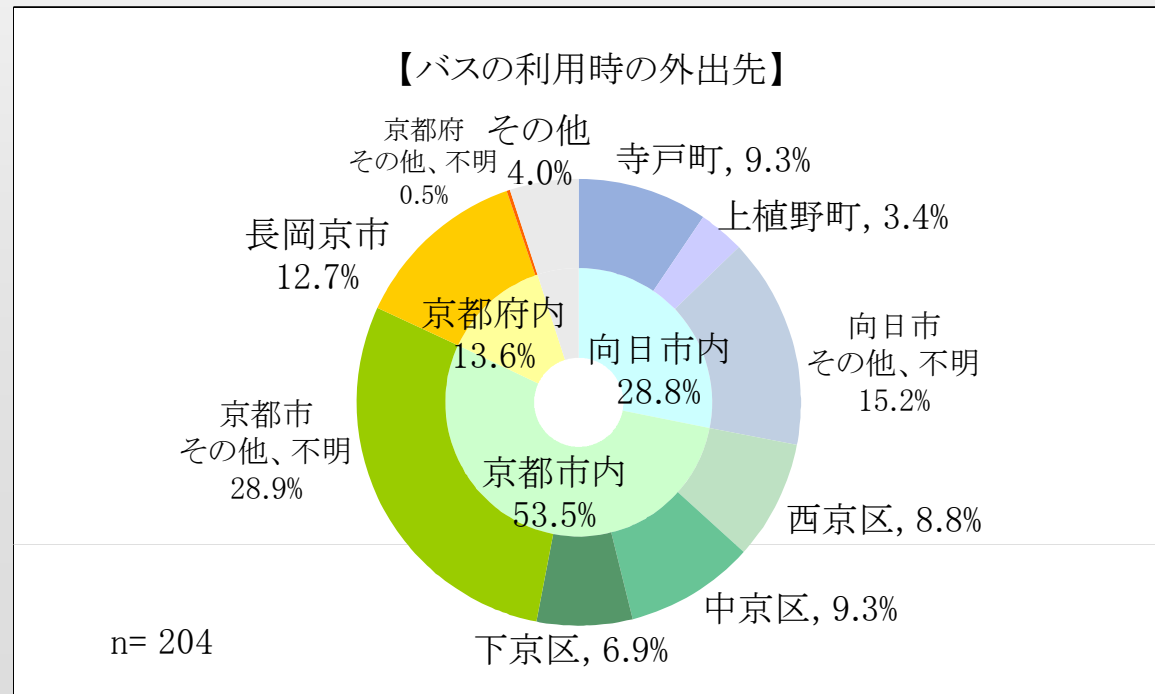


### 3 バス交通の利用状況について

#### (3) バスを利用する際の外出先

##### ✚ バスの利用時の外出先

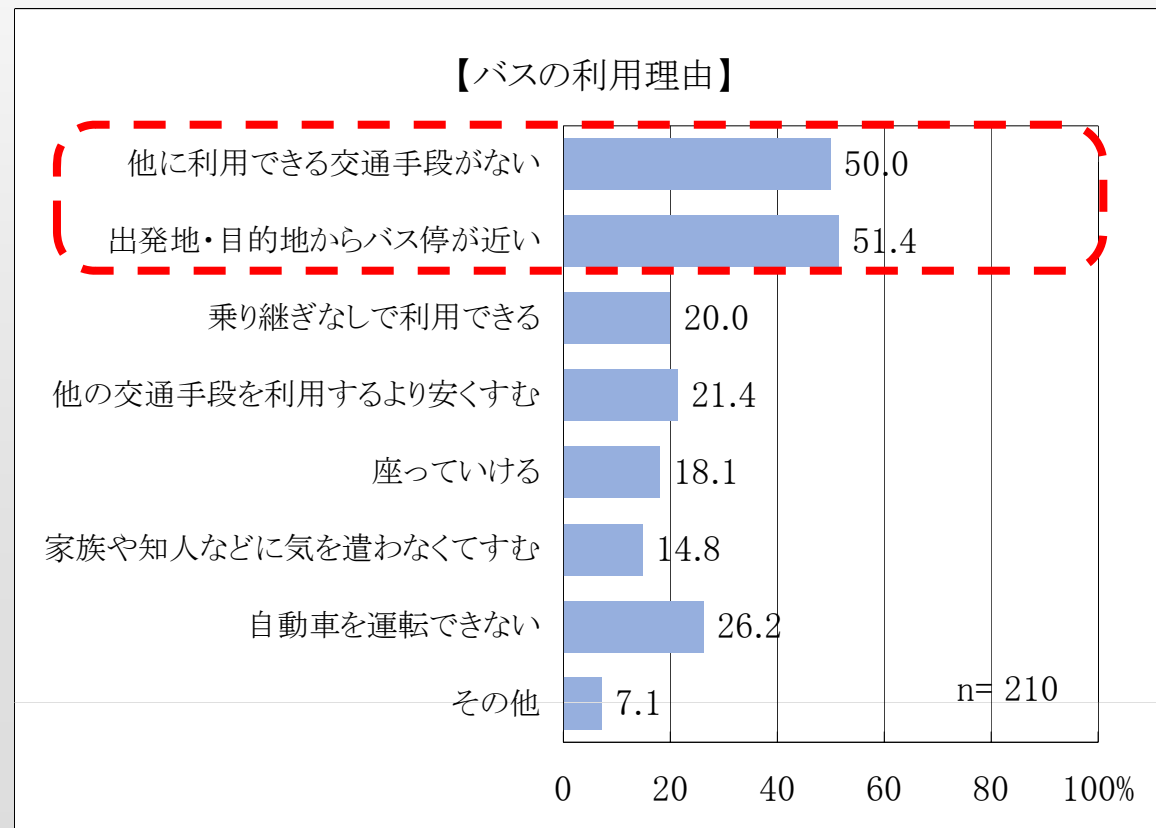
- バス利用者の半数以上が京都市内へ  
向日市内への移動は全体の約28.8%
- 向日市内では寺戸町へいく際にバスを利用するという回答者が最も多い(約9.3%)



### 3 バス交通の利用状況について

#### (4) バスを利用する理由

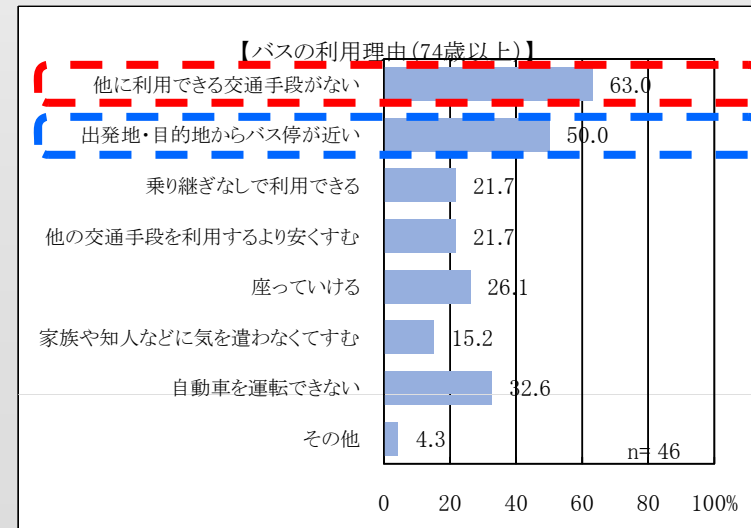
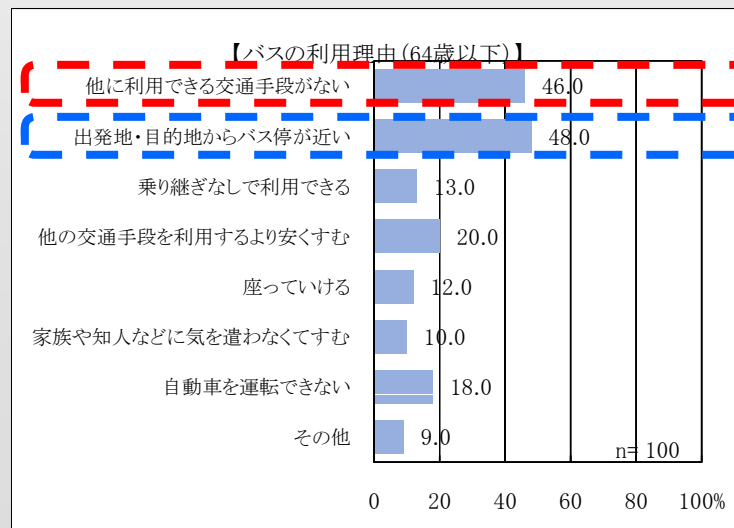
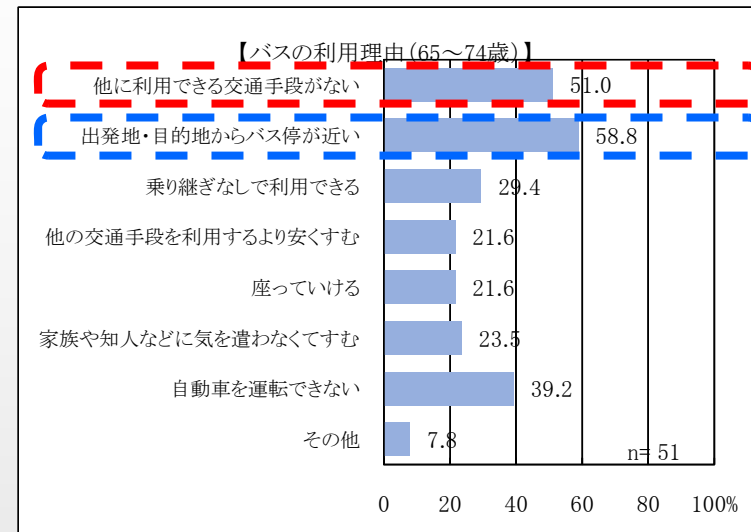
- バス利用者のうち、バス以外の交通手段がない方が全体の約50.0%
- 「出発地・目的地からバス停が近い」と回答している方が全体の半数以上



### 3 バス交通の利用状況について

#### (4) バスを利用する理由 (年齢階層別)

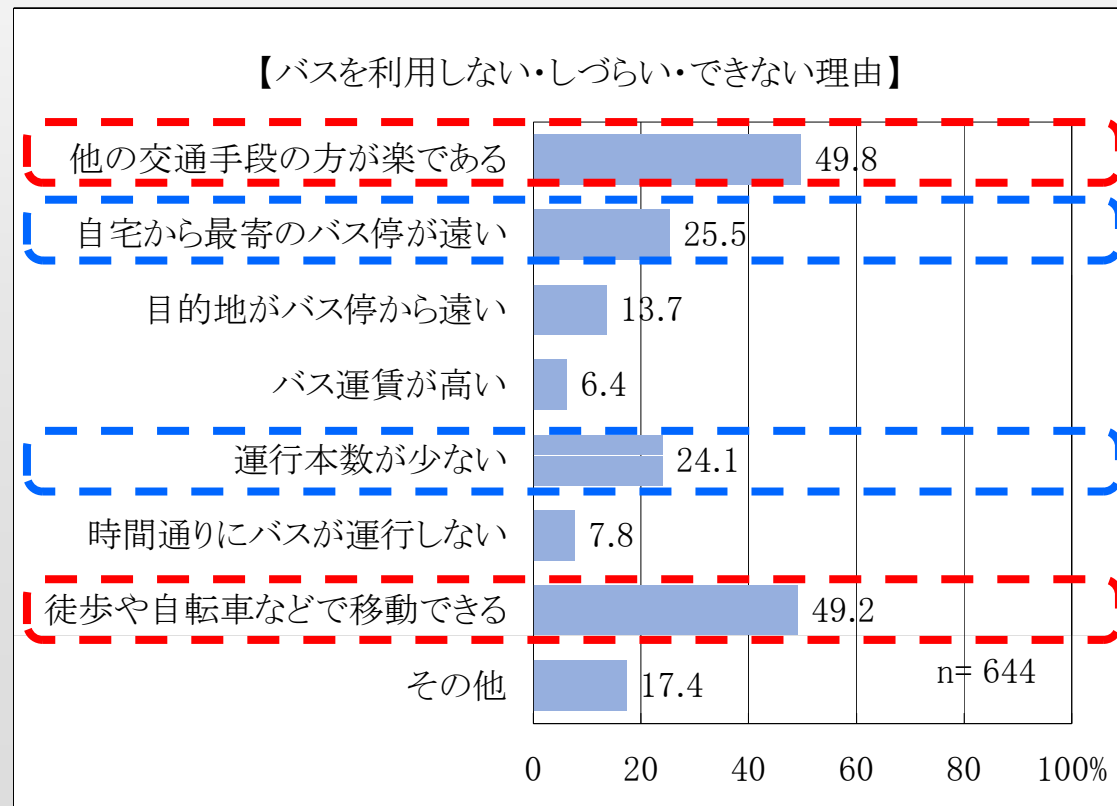
- 高齢の回答者ほど、「他に利用できる手段がない」と回答
- バス停が近いからという回答は、いずれの年齢階層においても高い



### 3 バス交通の利用状況について

#### (5) バスを利用しない・しづらい・できない理由

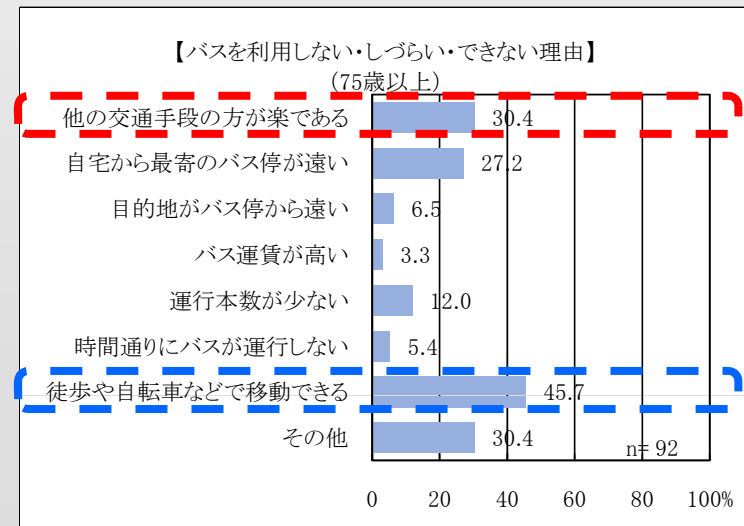
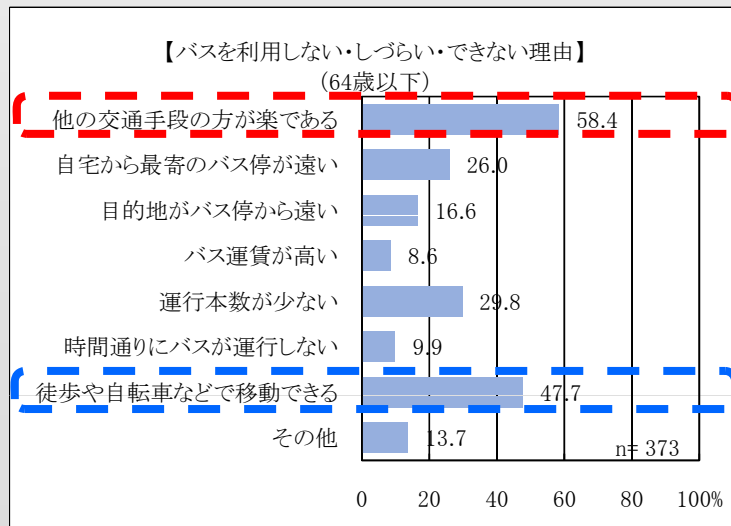
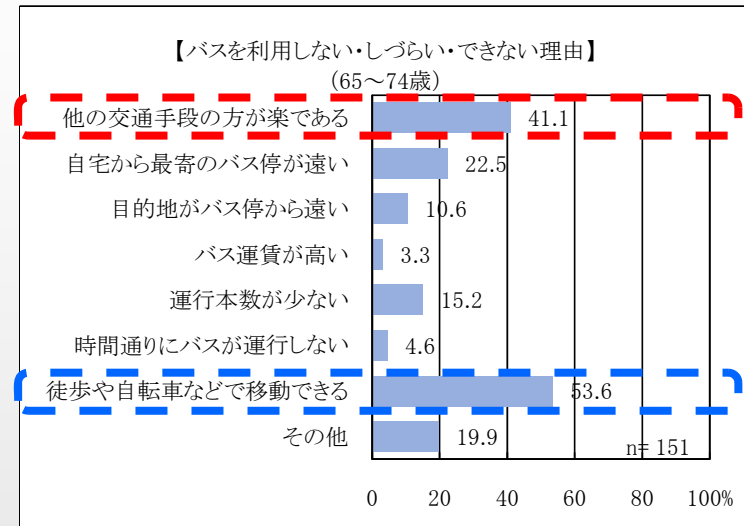
- 「他の交通手段の方が楽である」 : 約49.8%
- 「徒歩や自転車で移動できる」 : 約49.2%
- 「自宅から最寄りのバス停が遠い」 : 約25.5%
- 「運行本数が少ない」 : 約24.1%



### 3 バス交通の利用状況について

#### (5) バスを利用しない・しづらい・できない理由 (年齢階層別)

- 全体的に「他の交通手段の方が楽である」, 「徒歩や自転車などで移動できる」が多い
- 年齢によって大きな差はみうけられない

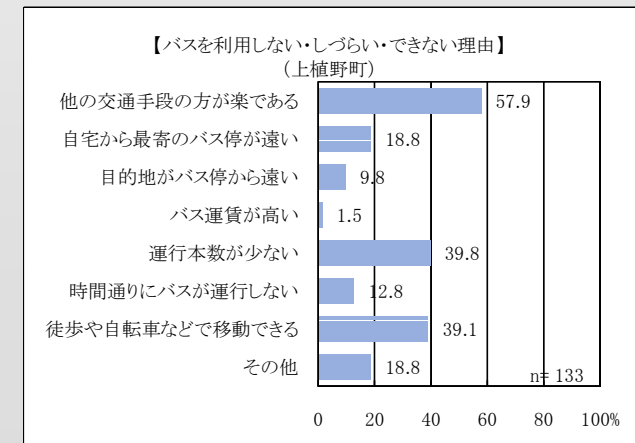
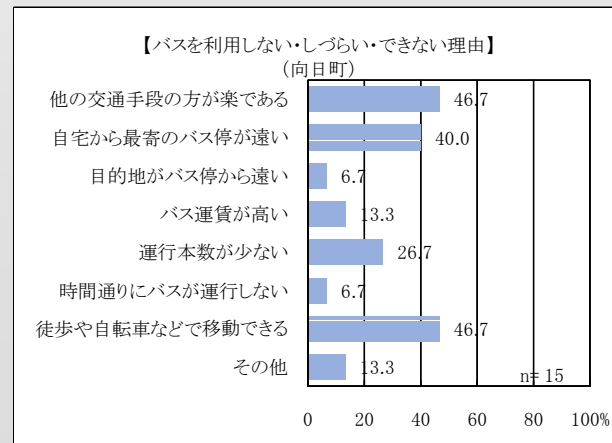
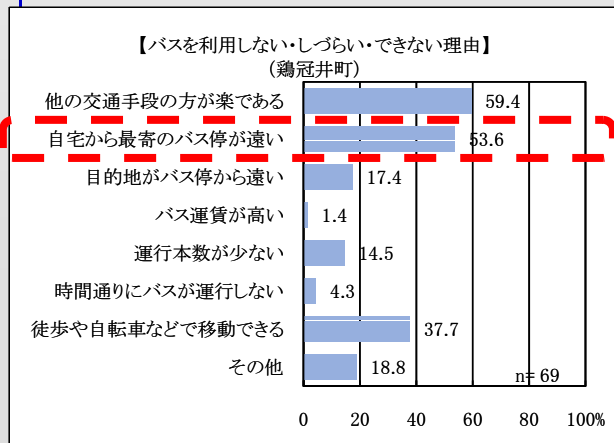
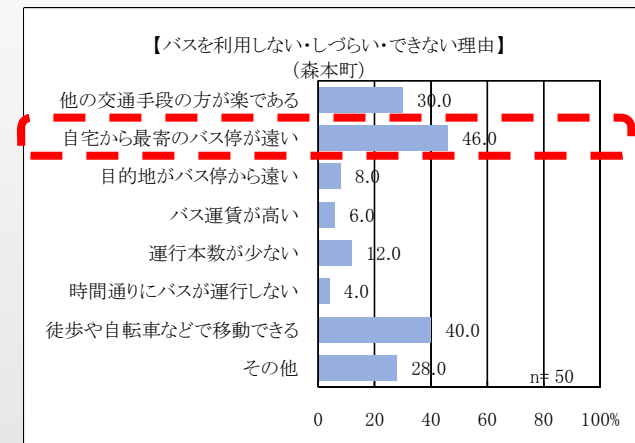
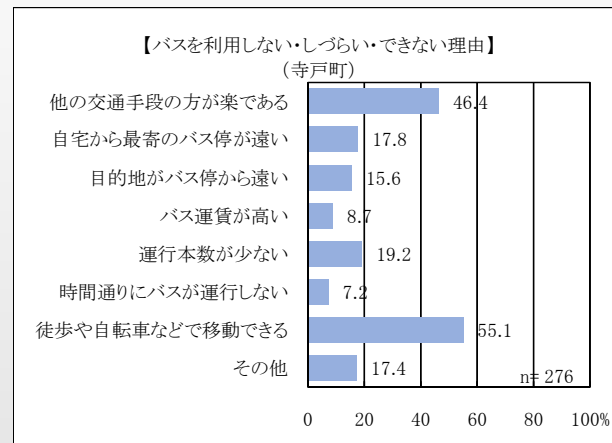
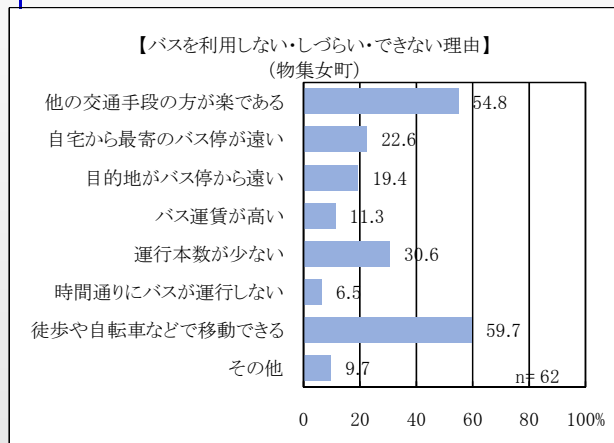




# 3 バス交通の利用状況について

## (5) バスを利用しない・しづらい・できない理由 (地域別)

➤ バスを利用できないという回答が比較的多かった森本町・鶏冠井町では  
**自宅から最寄りのバス停が遠い**という意見が半数程度みられた



## 4 新たな公共交通について

### (1) 新たな公共交通の必要性

⇒ 新たな公共交通について、  
「必要である」、「どちらかという必要である」併せて約60.6%

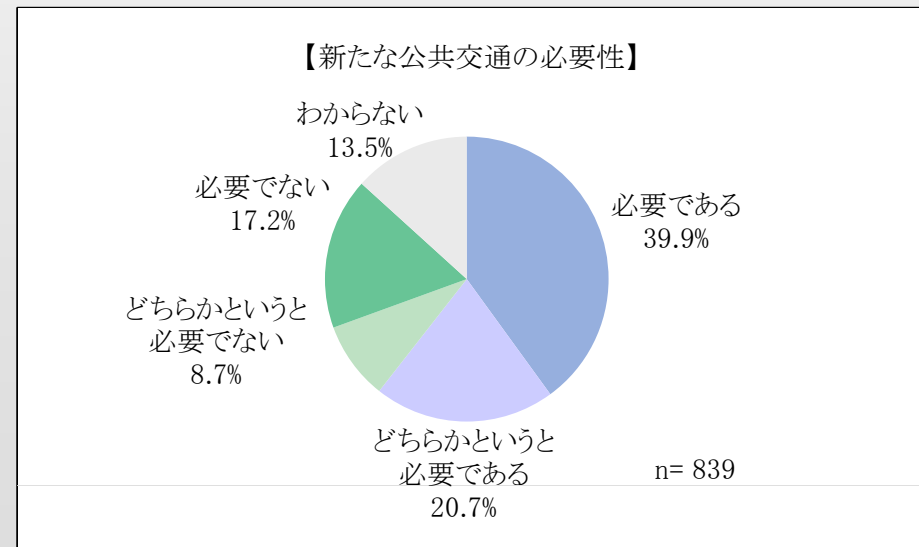
※主な理由：

- ・ 高齢者の足として必要
- ・ 将来自動車を運転できなくなったら必要 など

⇒ 必要でない(約25.9%)

※主な理由：

- ・ 向日市のような小さな市は徒歩で動ける
- ・ 運行経費が大きいと思うから
- ・ バスの運行より道路整備を優先してほしい など

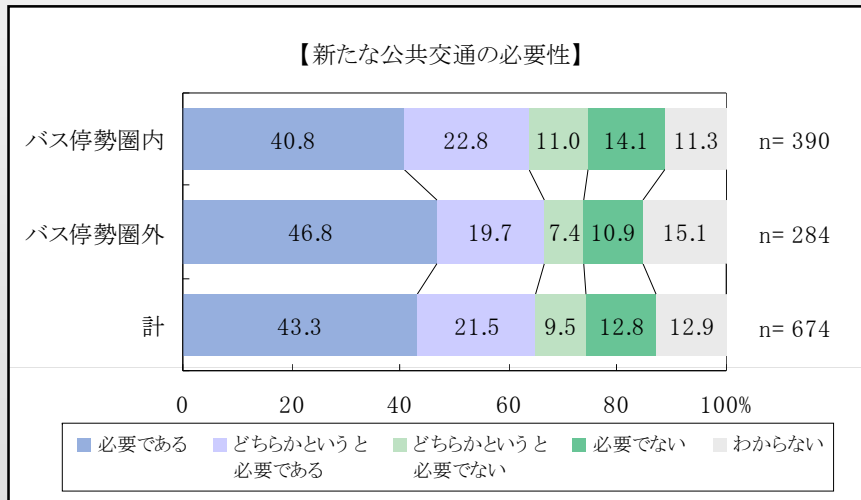
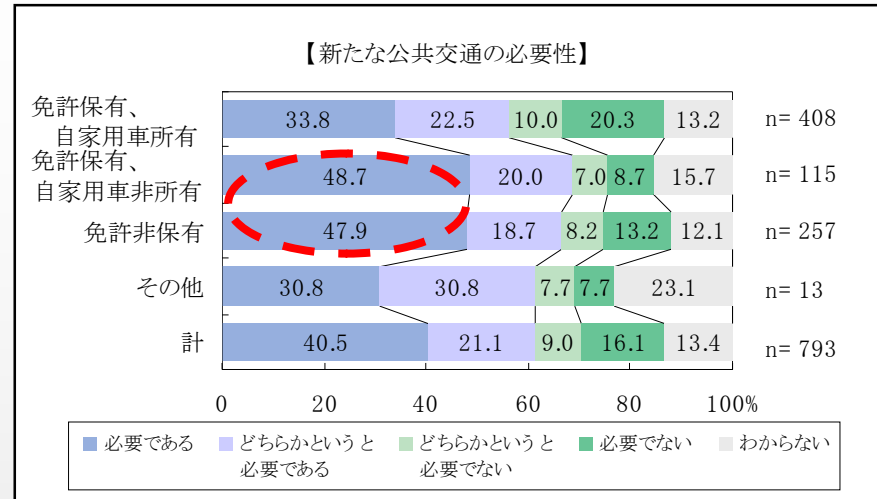


# 4 新たな公共交通について

## (1) 新たな公共交通の必要性

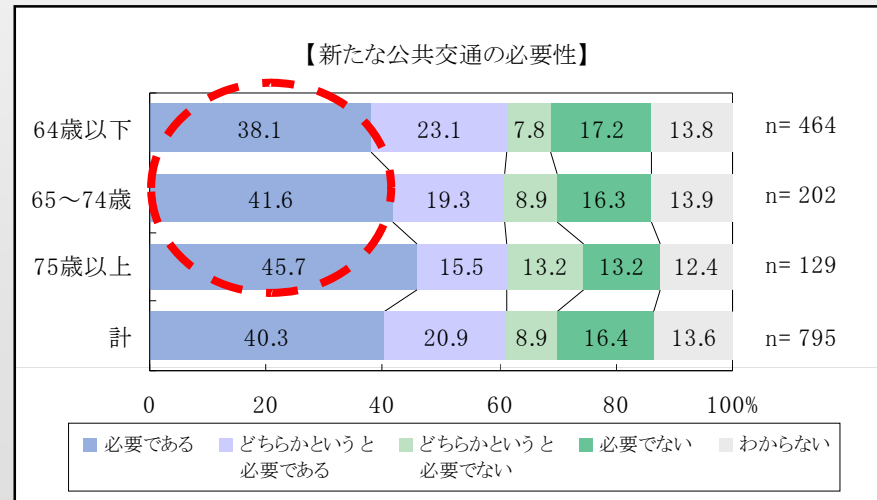
➤ 免許の有無，自家用車の有無；

自由にクルマを使えない回答者が新たな公共交通を必要としている割合が大きい



➤ バス停勢圏内外；

バス停勢圏外の回答者がやや必要としている割合が高い



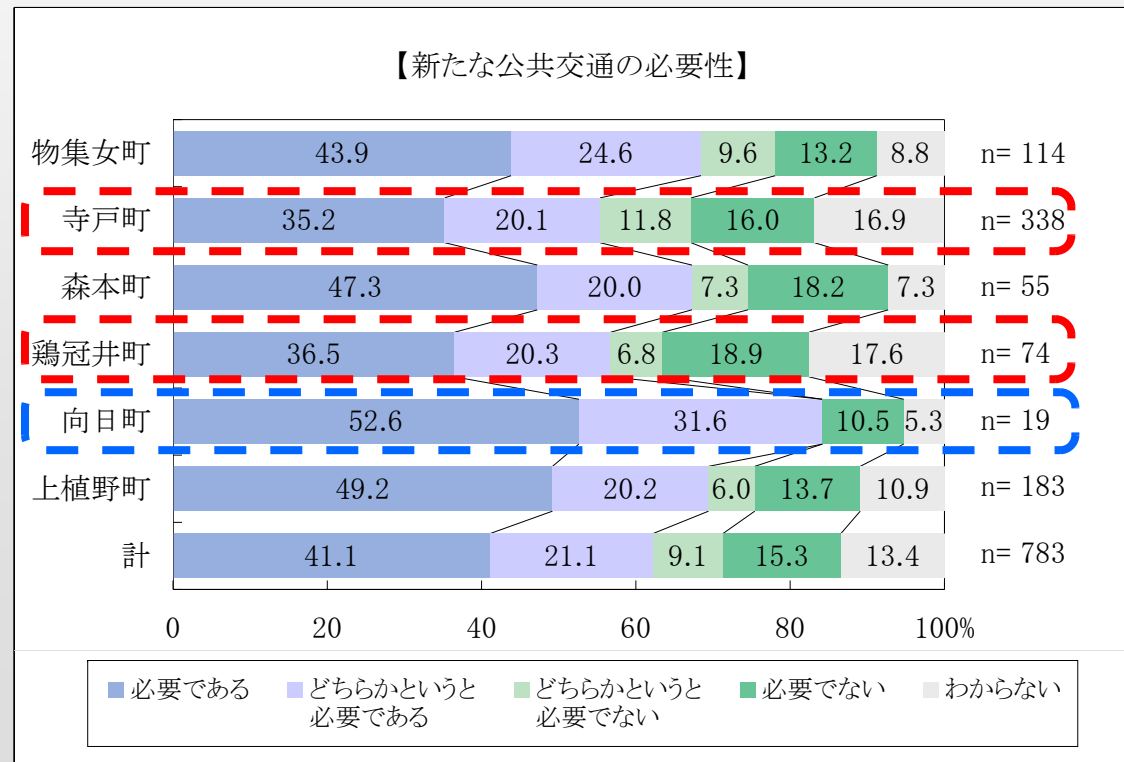
➤ 年齢別；

高齢の回答者がやや必要としている割合が高い

# 4 新たな公共交通について

## (1) 新たな公共交通の必要性 (地域別)

- 「必要である」, 「どちらかという必要である」
  - ・ 向日町 : 約84.2%
  - ・ 上植野町 : 約69.4%
  - ・ 物集女町 : 約68.5%
  - ・ 森本町 : 約67.3%
  - ・ 鶏冠井町 : 約56.8%
  - ・ 寺戸町 : 約55.3%



# 4 新たな公共交通について

## (2) 新たな公共交通で行きたい施設・場所，利用目的

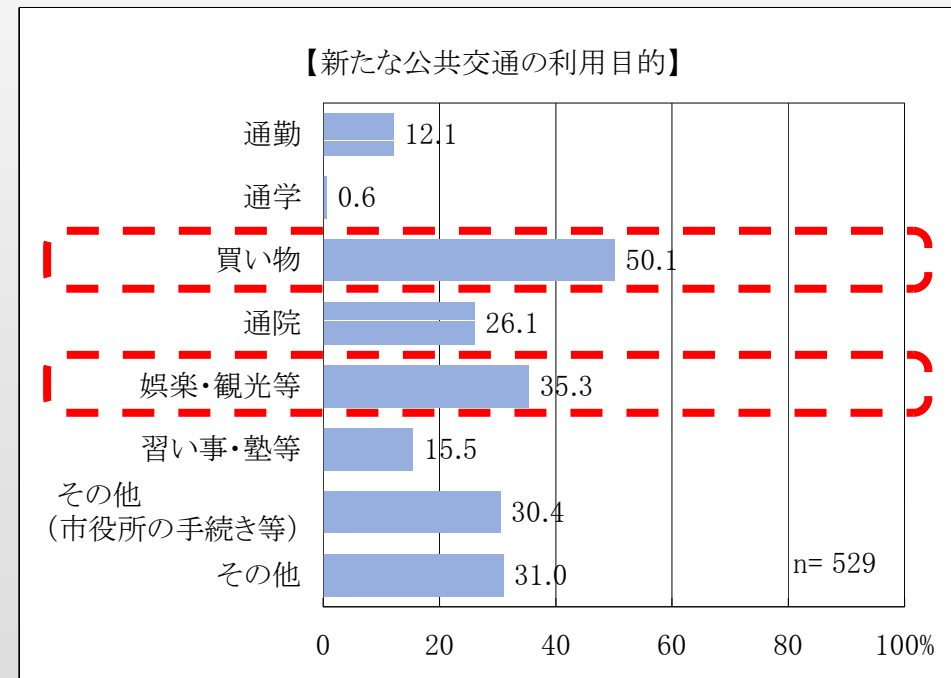
### ✚ 行きたい施設・場所

- 向日市役所が約35.6%と最も多い  
また、市民体育館，図書館等の公共施設への移動手段としてのニーズも高い
- 鉄道駅までの交通手段としてのニーズもみうけられる

### ✚ バスの利用時の外出先

- 新たな公共交通は買い物目的で利用したいというニーズが最も高い

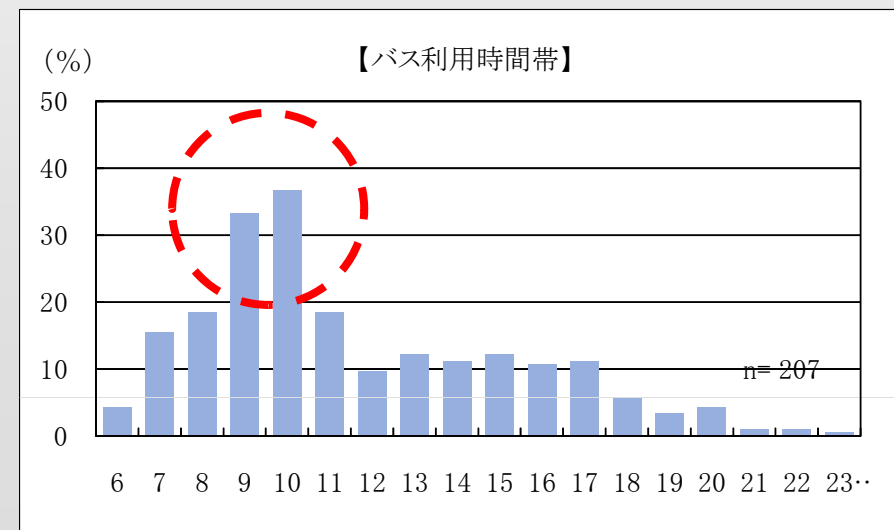
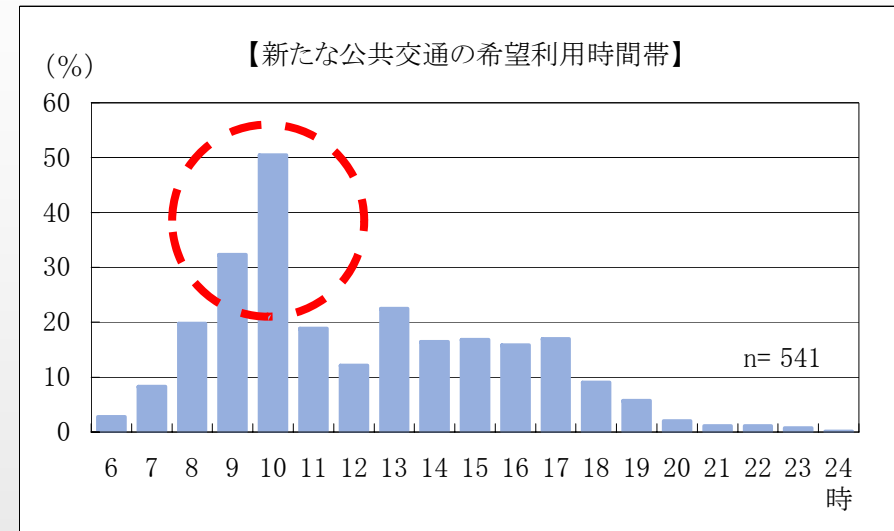
Rank	施設名称	(人)	(%)
1	向日市役所	163	35.6%
2	JR向日町駅	109	23.8%
3	市民体育館	107	23.4%
4	図書館	84	18.3%
5	阪急東向日駅	71	15.5%



## 4 新たな公共交通について

### (3) 新たな公共交通を利用したい時間帯

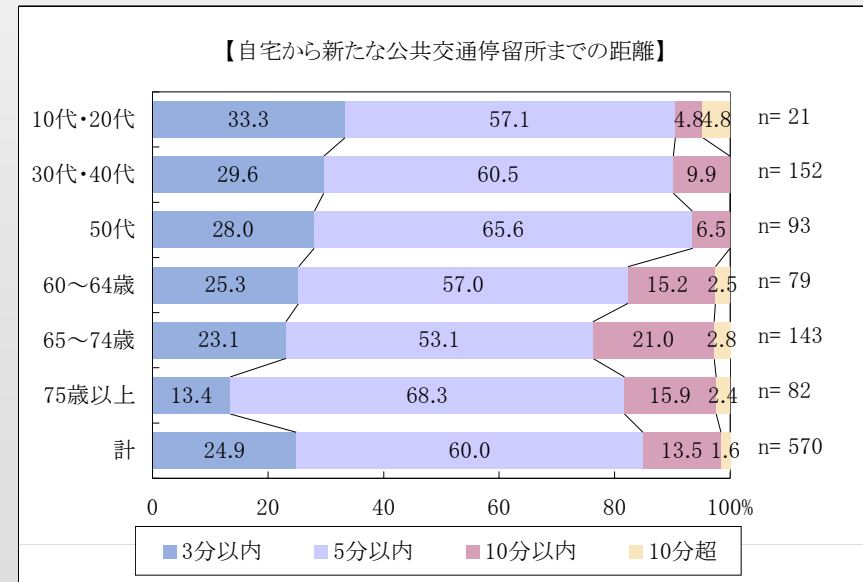
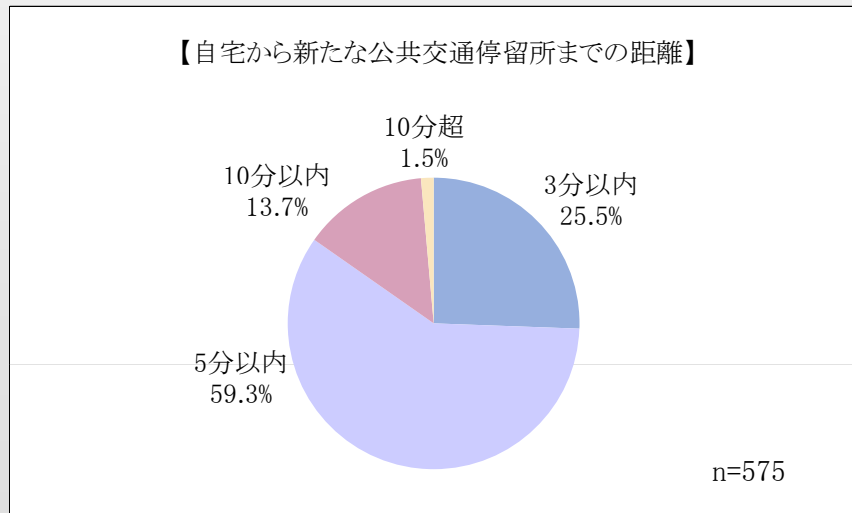
- 10時台に利用したいという回答者が約半数  
次いで、9時台, 8時・11時台と午前中が多い
- 現行のバス利用時間帯と概ね同様の傾向



## 4 新たな公共交通について

### (4) 利用したいと思う最寄りの停留所までの距離

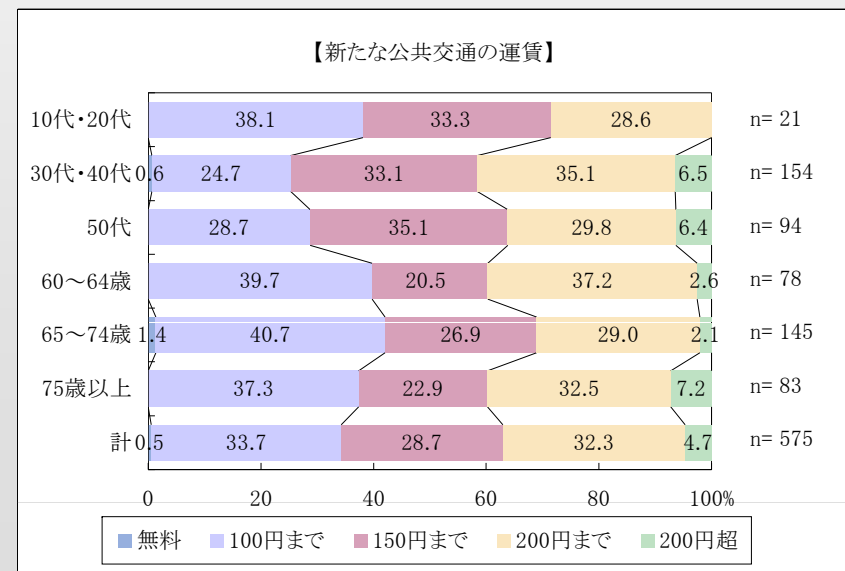
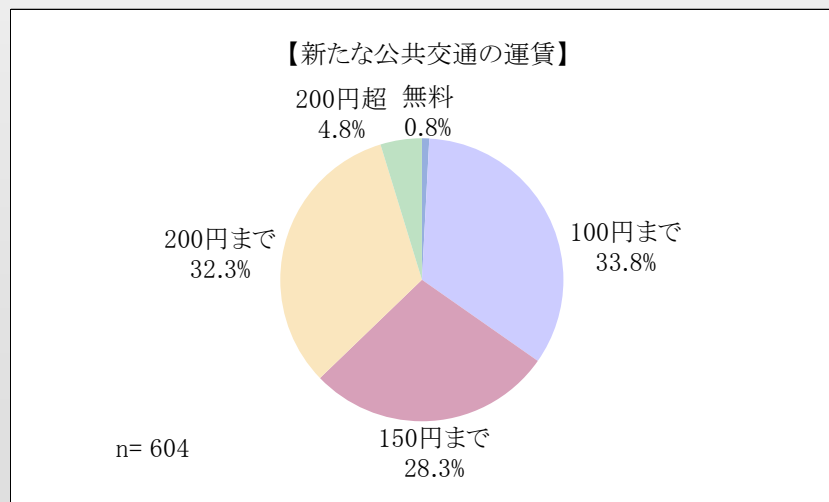
- 5分以内の距離に停留所があれば、利用したいと思うと回答した方が、全体の約74.5%
- 高齢な回答者ほど、停留所までの距離が遠くても利用すると回答



## 4 新たな公共交通について

### (5) 利用1回あたりの運賃

- 「100円まで」が最も多く、全体の約**33.8%**  
次いで、「200円まで」が約**32.3%**と多い
- 一方、運賃が200円超の場合も利用したいと回答した方は、全体の約**4.8%**
- 年齢階層別に大きな差はみうけられない

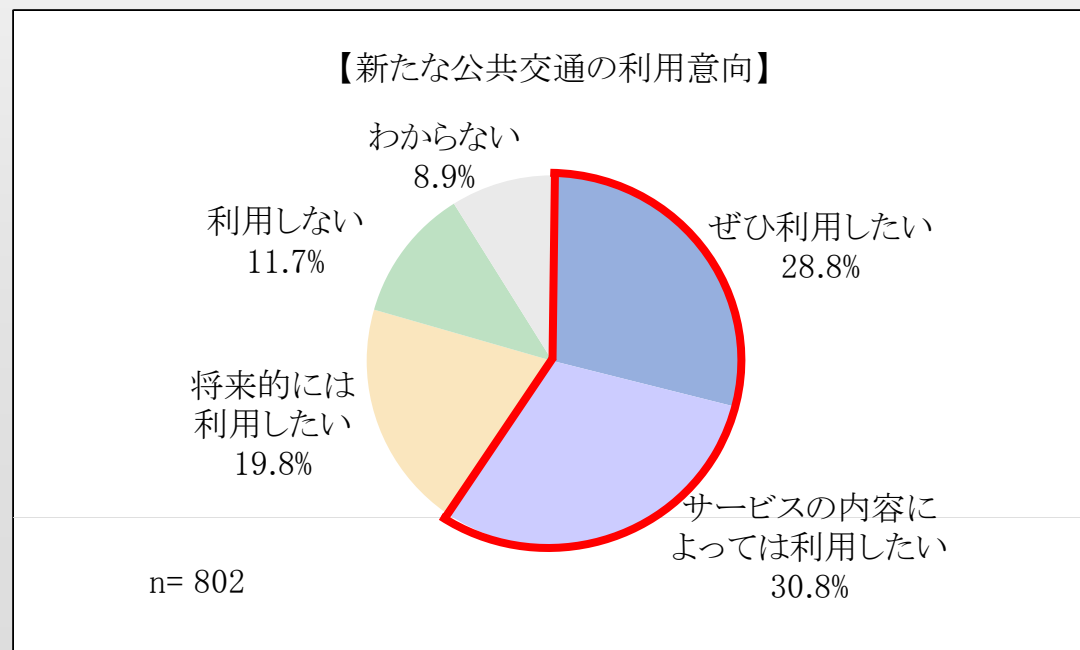




## 4 新たな公共交通について

### (6) 新たな公共交通の利用意向

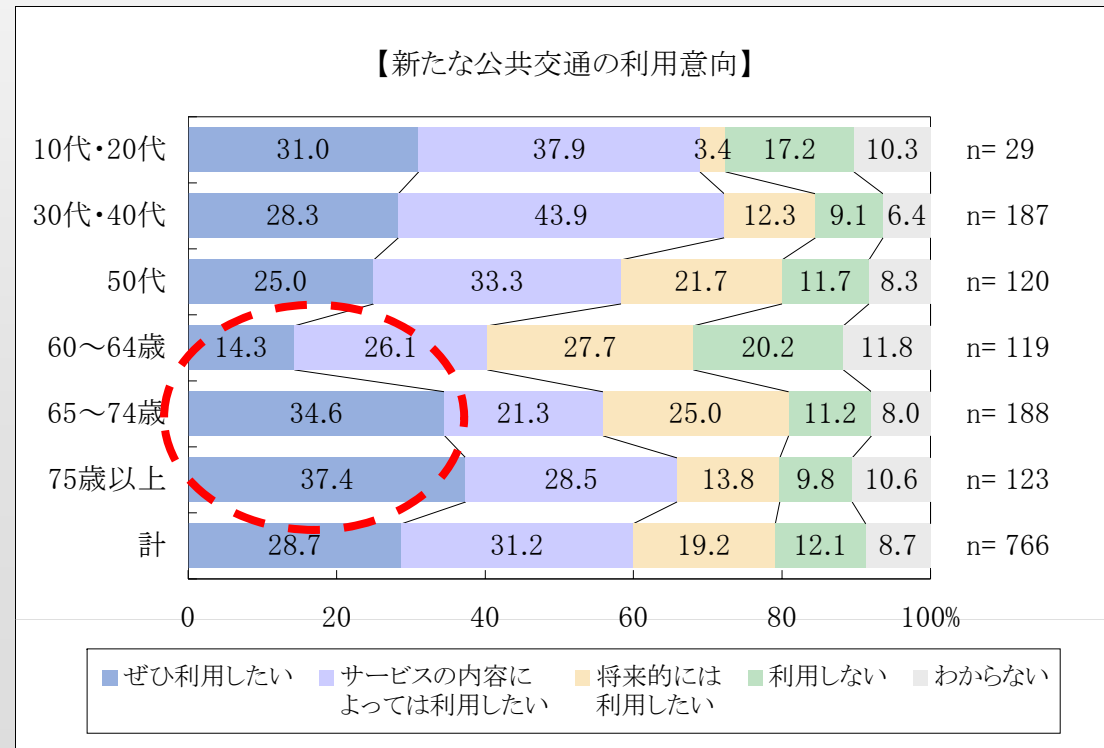
- 「ぜひ利用したい」，「条件によっては利用したい」あわせて約59.6%
- 一方，「利用しない」と回答した方は約11.7%



## 4 新たな公共交通について

### (6) 新たな公共交通の利用意向 (年齢構成別)

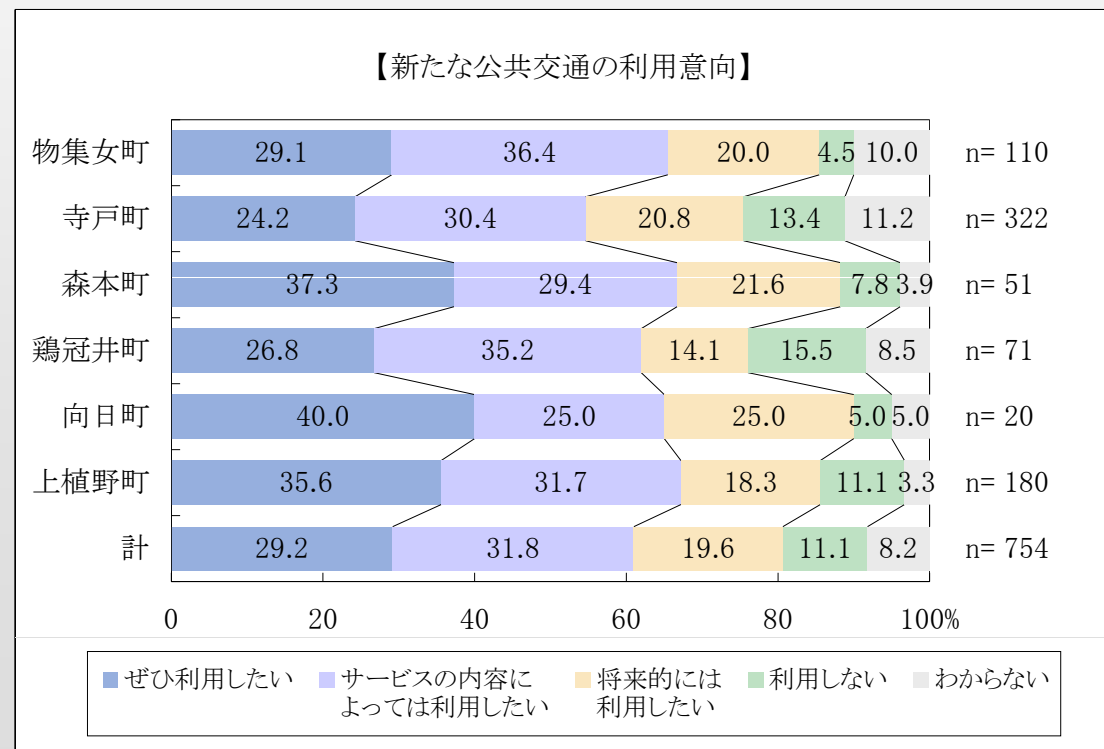
- ▶ 新たな公共交通について、高齢な回答者ほど必要としている  
(65~74歳：約34.6%， 75歳以上：約37.4%)
- ▶ 一方、60~64歳以下で利用すると回答した方は、約14.3%



## 4 新たな公共交通について

### (6) 新たな公共交通の利用意向 (地域別)

- ▶ 新たな公共交通の利用意向について、地区毎に大きな差は見られない
- ▶ なお、「利用しない」という回答については、寺戸町(約13.4%)，鶏冠井町(約15.5%)において比較的多くみうけられた



# 5 環境に対する市民の意識について

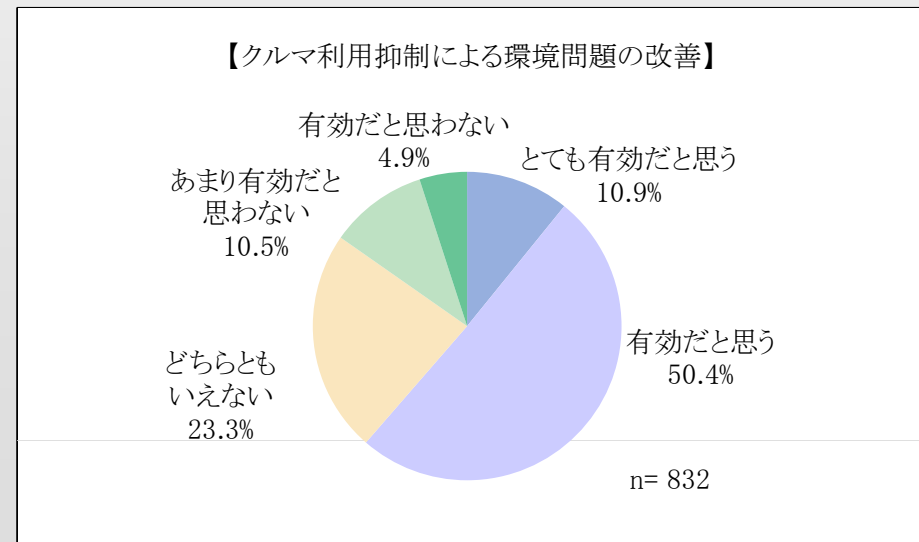
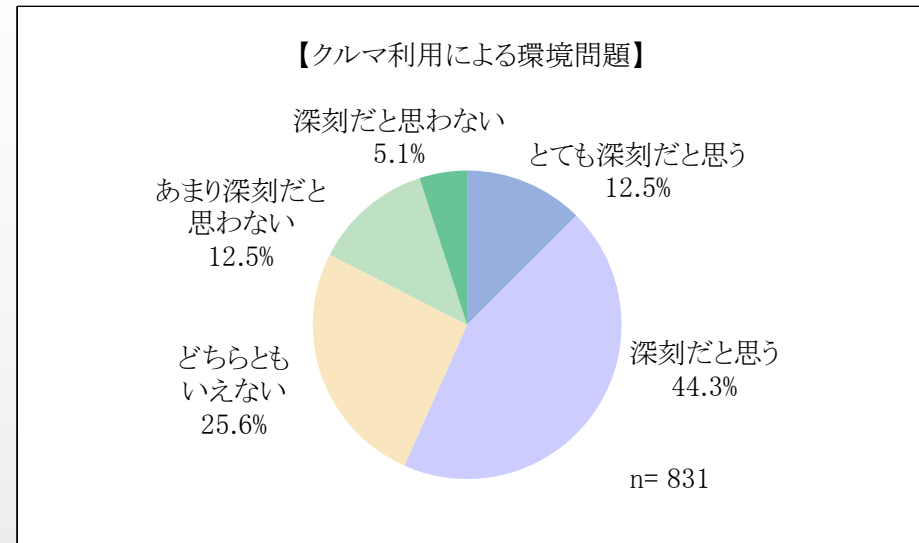
## (1) クルマ利用による環境問題

### ✚ クルマ利用による環境問題

- 「深刻だと思う」，「とても深刻だと思う」あわせて約**56.8%**

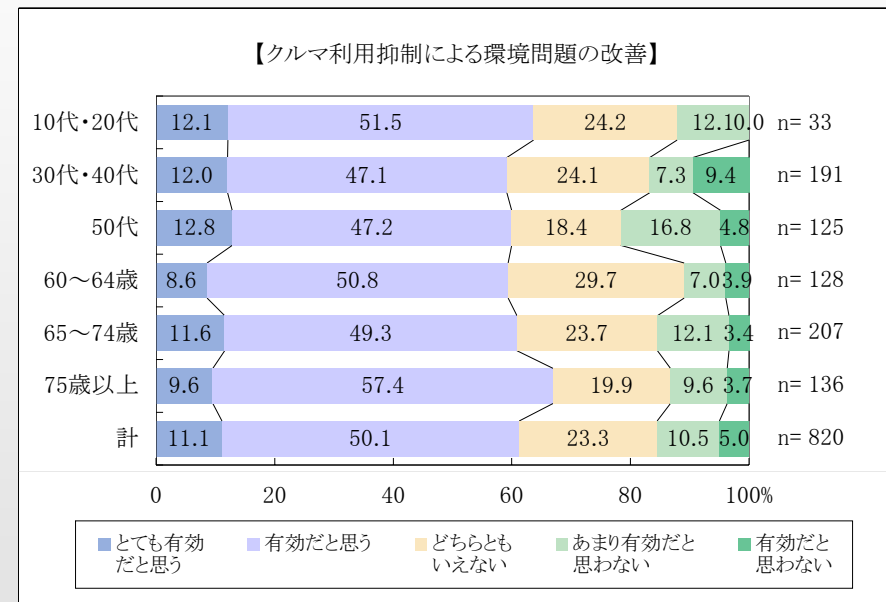
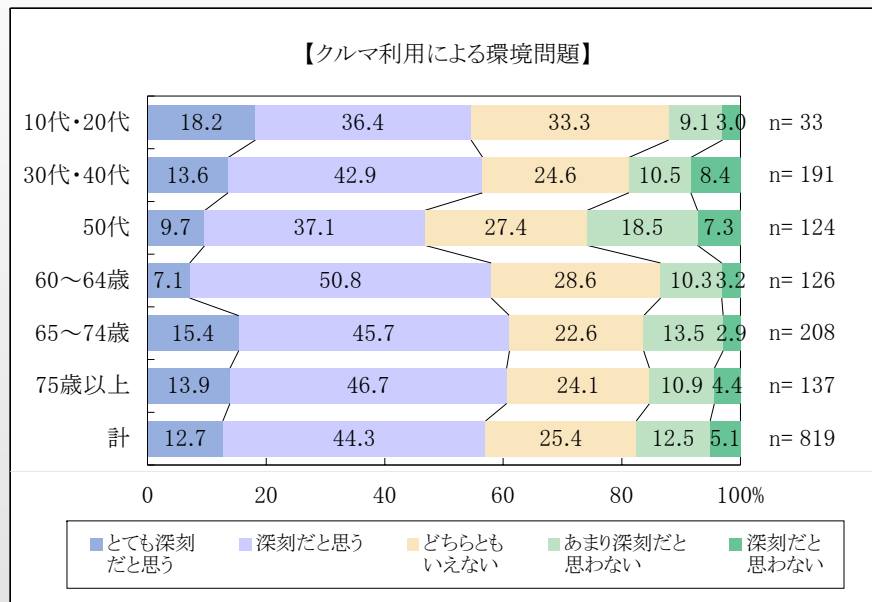
### ✚ クルマ利用抑制による環境問題の改善

- 「有効だと思う」，「とても有効だと思う」あわせて約**61.3%**
- クルマ利用が環境に与える影響を意識している回答者が半数以上みうけられる



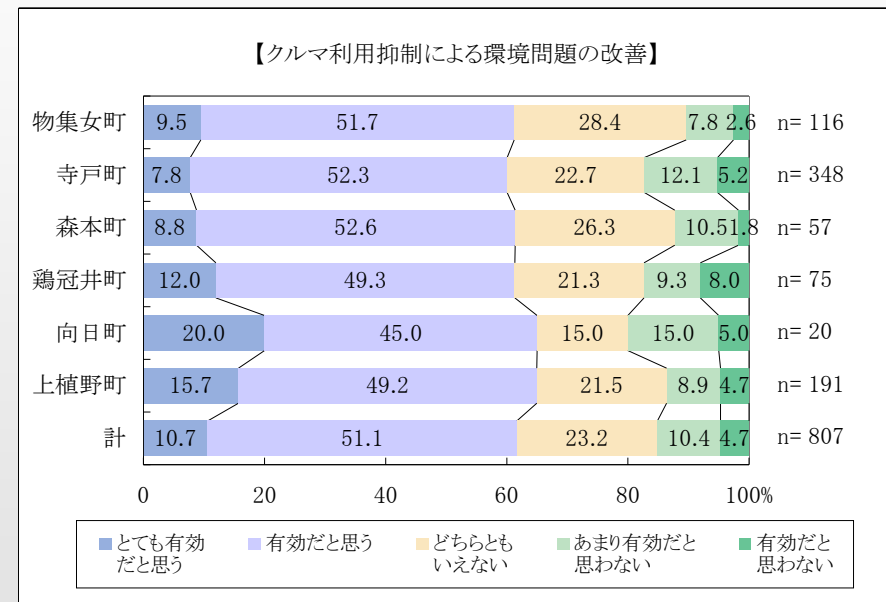
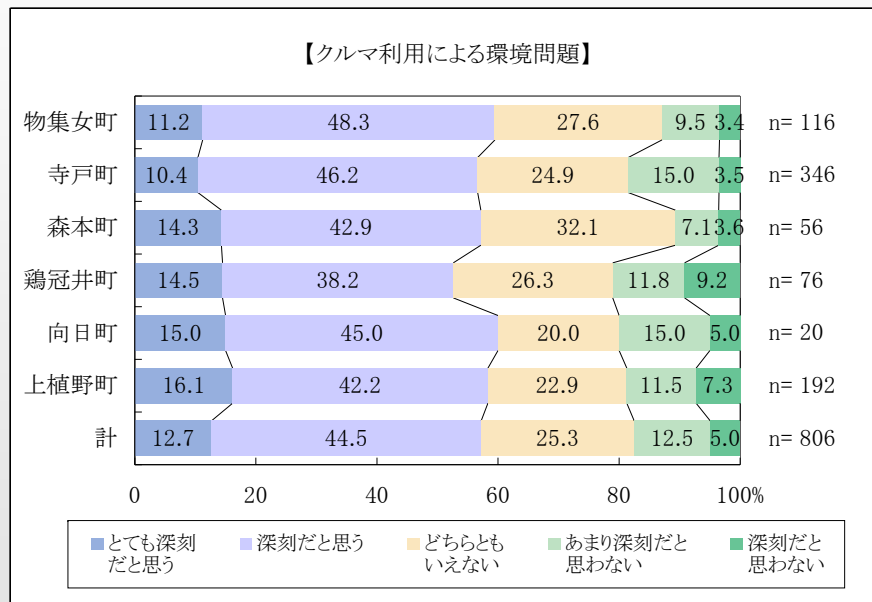
# 5 環境に対する市民の意識について

## (参考)クルマ利用による環境問題 (年齢階層別)



# 5 環境に対する市民の意識について

## (参考)クルマ利用による環境問題 (地域別)



# 5 環境に対する市民の意識について

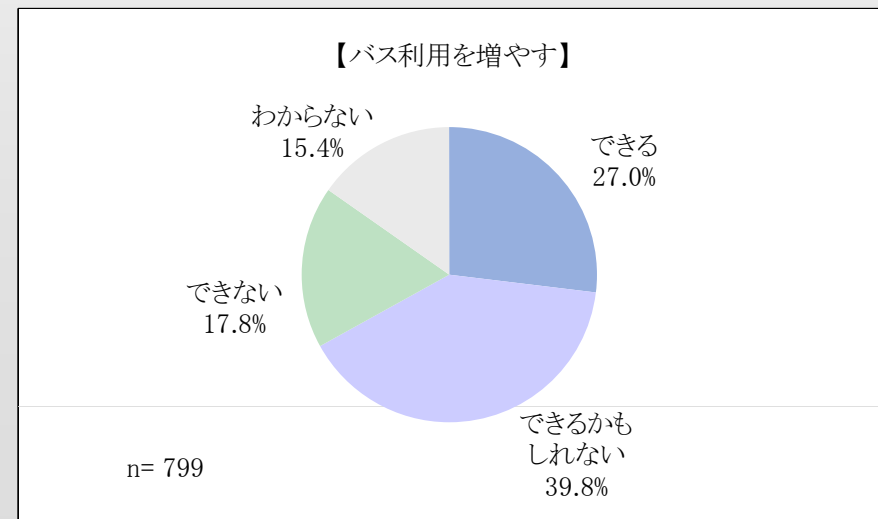
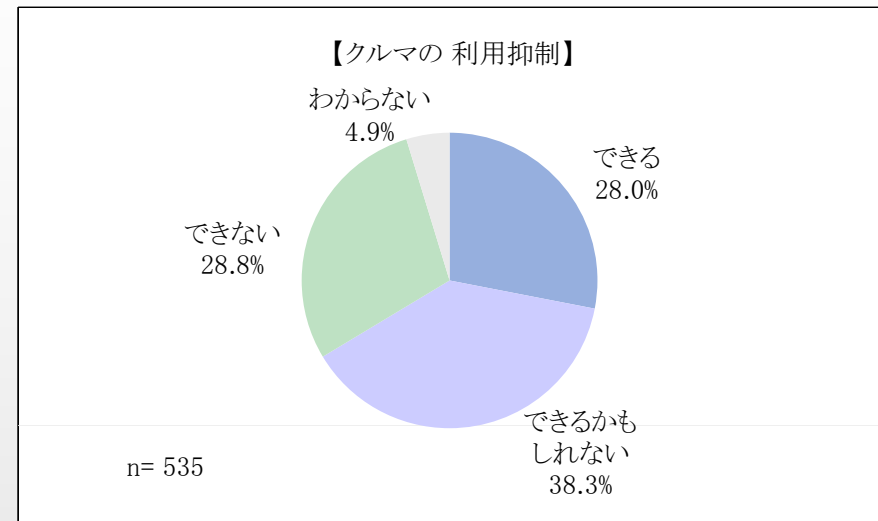
## (2) 環境に配慮した交通手段の選択可能性

### ✚ クルマの利用抑制

- 「できる」, 「できるかもしれない」あわせて約**66.3%**

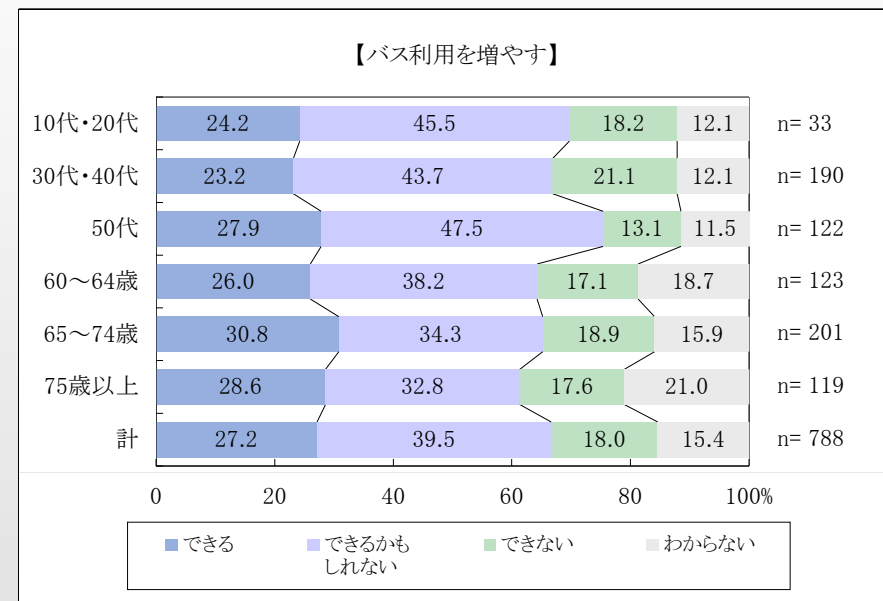
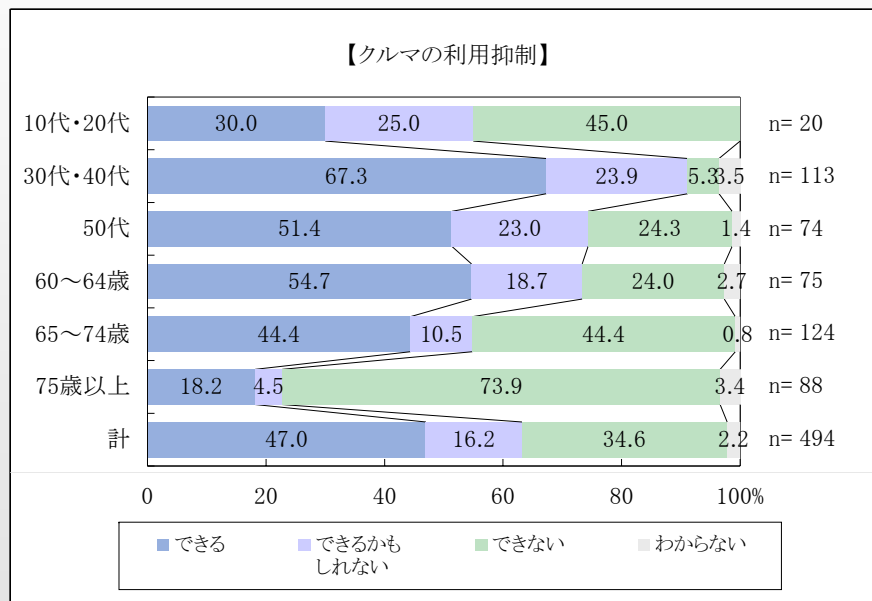
### ✚ バス利用の増加

- 「できる」, 「できるかもしれない」あわせて約**66.8%**
- 環境問題に対する意識をもっている回答者が全体の**60%以上**を占めている



# 5 環境に対する市民の意識について

## (参考) 環境に配慮した交通手段の選択可能性 (年齢階層別)





# 5 環境に対する市民の意識について

## (参考) 環境に配慮した交通手段の選択可能性 (地域別)

